

都市再生整備計画(第4回変更)

あべの筋周辺地区

大阪府 大阪市

令和5年 1月

事業名	確認
都市構造再編集中支援事業	<input type="checkbox"/>
都市再生整備計画事業	<input type="checkbox"/>
まちなかウォーカブル推進事業	<input checked="" type="checkbox"/>

都市再生整備計画の目標及び計画期間

様式(1)-(2)

都道府県名	大阪府	市町村名	大阪市	地区名	あべの筋周辺地区	面積	46.6 ha
計画期間	平成 30 年度 ~ 令和 5 年度	交付期間	平成 30 年度 ~ 令和 5 年度				

目標

大目標：圧倒的な魅力を備えた都市空間の創出をめざし、グレードの高い公共空間の整備・管理・活用を図る。

目標：阿倍野ターミナルエリアのメインストリートである「あべの筋」を沿道一帯のまちづくり活動と調和したデザインや活用により圧倒的な魅力を備えた都市空間とする。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

阿倍野ターミナルエリアでは、大規模な市街地再開発事業（昭和51年度～平成29年度）や日本一の高さを誇るターミナル複合ビル「あべのハルカス」の平成26年3月開業、町会・商店会・企業等の連携によるまちづくり活動などにより、都心南部の一大拠点ターミナル機能と周辺の文化的な環境や良好な居住環境を活かした都市の魅力づくりが進んでいる。

また、平成24年6月に府市統合本部が取りまとめた「グランドデザイン・大阪」においては、「圧倒的な魅力を備えた“都市空間”の創造」の一翼を担う「大阪らしいポテンシャルとストックを持つ象徴的エリア」として「なんば・天王寺・あべのエリア」が取り上げられている。

現在、市街地再開発事業による西側の拡幅整備及び関連事業である阪堺電気軌道上町線の軌道移設工事が完了（平成29年度）している「あべの筋」は、象徴的エリアの連続性・回遊性の形成の要となる道路であり、沿道一帯の魅力づくりと調和したデザインや活用が強く求められている。

一方、平成10年10月に大阪阿部野橋駅南側の町会や商店会、地元企業からなる「あべのまちづくり構想研究会」が結成され、地域の環境向上に向けて自主的・自発的なまちづくりの構想を策定し、活動が続けられている。また、平成25年3月には、「あべの筋」の沿道エリアの各種団体・企業等で構成する「あべの筋魅力づくり協議会（平成25年2月設立）」が、阿倍野ターミナルエリアの将来像を検討し、あべの筋のデザインや活用についての提案をまとめ大阪市に提出された。

提案書には、まちのにぎわいを創出するため、このエリアの都市空間を活用した事業を行い、その収益を都市空間の維持管理費の一部に還元するスキーム（芝生の維持管理を含む）も提案されており、今後、「あべの筋」の整備工事にあわせて、「あべの筋」沿道でエリアマネジメントを担っていくための組織を設立し、将来にわたって地区全体の一体的な維持管理（清掃、点検・補修、巡回等）を行うことにより、良好な都市環境を形成する方針である。

この提案を受けて、大阪市では、平成28年度に阪堺電気軌道上町線の軌道移設工事に併せて軌道敷の芝生化を行うとともに、地域によるエリアマネジメントに先駆けて阿倍野区役所が整備が完了している「あべの筋」西側で広告事業を開始し、その収益を芝生の維持管理費の一部に充てている。

課題

・あべの筋周辺地区の骨格でシンボル道路となる「あべの筋」については、平成29年度に市街地再開発事業による西側の拡幅整備及び関連事業である阪堺電気軌道上町線の移設工事が完了している。一方、東側については、歩道拡幅等の整備計画はあるもののその整備手法が課題となっており、魅力ある景観形成と回遊性の向上に向けて、にぎわいのある快適な歩行者空間の整備・充実が急がれている。

・併せて、平成26年3月のあべのハルカス開業などに伴い、国内外からの来訪者が急増しており、分かりやすい案内誘導や利便性の向上などに資する情報発信・提供機能の充実が求められている。

将来ビジョン（中長期）

①都市再生緊急整備地域「阿倍野地域」（平成14年度指定）

職・遊・住 共生のまちづくり～にぎわいの創出と集客性向上～

都心南部の一大拠点ターミナル機能を活かした、駅前再開発ビルの商業推進と、良質な住宅整備による職・遊・住 共生の拠点形成を図るとともに、ターミナル周辺の連続性・回遊性の形成と大規模遊休地を活用したまちづくりによる、にぎわい空間の創出。

②大阪市天王寺・阿倍野地区交通パリアフリー基本構想 「交通パリアフリー法」（平成15年度策定）

地下鉄、JR天王寺駅など5駅の結節点を中心とした面積約137haの区域を重点整備地区として設定。

③阿倍野筋1丁目地区都市再生特別地区（平成19年度指定）

都市の再生に貢献し、土地の合理的かつ健全な高度利用を図る（あべのハルカス）。

④グランドデザイン・大阪「なんば・天王寺・あべの エリア」（平成24年度取りまとめ）

象徴的エリアのデザインは、行政が決めるのではなくエリアを熟知する民間等を主体に進めることを提案。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
歩行者交通量	人／12時間	あべの筋東側歩道における歩行者交通量を実測（7時～19時）	にぎわい創出や円滑な交通環境整備により、歩行者交通量が増加する。	7,513人／12時間	H26	8,264人／12時間	R5
あべの筋の魅力度	%	あべの筋が魅力的であると感じる人の割合（アンケート）	良好な都市景観やにぎわい創出、安心・安全な都市環境整備により、あべの筋の魅力度が向上する。	0.78	H28	0.86	R5

都市再生整備計画の整備方針等

様式(1)-③

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>【目標】阿倍野ターミナルエリアのメインストリートである「あべの筋」を沿道一帯のまちづくり活動と調和したデザインや活用により圧倒的な魅力を備えた都市空間とする ・公共空間の「活用」による良好な都市景観の形成とにぎわいの創出 ・安全安心なバリアフリーの歩行空間の確保 ・放置自転車・違法走行対策、店先看板のルール管理及び路上駐輪場の適切な管理などにより、良好な歩行空間の確保 ・道路空間や公園空地等のポールや樹木等のイルミネーション、アーケードや建築物のライトアップ等によるにぎわいの創出</p>	<p>【基幹事業】道路（道路・歩道拡幅）、電線共同溝、自転車レーン 【関連事業】道路（歩道拡幅）、電線共同溝 【基幹事業】滞在環境整備事業（ストリートファニチャー）</p>
<p>その他</p> <p>※当地区を中心としたまちづくりの進捗状況を補足</p> <p>【阿倍野地区第2種市街地再開発事業】 公共施設整備・再開発ビル建設により、安全で安心な住みよいまち、賑わいと魅力のあるまちを形成 ・事業期間 昭和51年度～平成29年度（予定） ・施行面積 約28ha</p> <p>【都市再生総合整備事業】 阿倍野歩道橋架け替え整備、阪堺電気軌道上町線移設整備など ・事業期間 平成23年度～平成29年度（予定） ・施行面積 約32ha</p> <p>【あべのまちづくり構想研究会】 ・平成10年10月 あべのまちづくり構想研究会設立 ・平成11年 7月 大阪市のまちづくり活動支援制度に基づくまちづくり推進団体の認定を受け、活動を開始 ・平成16年 3月 あべのまちづくり構想策定、市長に提出→地域の実情に応じた住み良いまちづくりを推進するための住民等による自発的なまちづくりの構想 ・平成16年 4月 規約を改訂し活動中</p> <p>【都市再生緊急整備地域指定】 ・平成14年 7月 都市再生緊急整備地域に指定 ・平成19年11月 阿倍野筋1丁目地区都市再生特別地区指定（あべのハルカス）</p> <p>【ゆめまちロードOASKAあべの】 ・平成23年 3月 道路不正使用防止活動開始 ・平成23年 4月 ゆめまちロードOASKAあべの設立</p> <p>【エリアマネジメント組織の設置状況】 ・平成25年 2月 あべの筋魅力づくり協議会設立 ・平成25年 3月 あべの筋の魅力づくり提案→あべの筋を「安全で、人・団体等が交流し、にぎわいと活力があり、うるおいのある美しいまち」とするための提案</p>	

目標を達成するために必要な交付対象事業等に関する事項（まちなかウォーカブル推進事業）

樣式(1)-④-3

交付対象事業費	656.25	交付限度額	299.9	国費率	0.457
---------	--------	-------	-------	-----	-------

(金額の単位は百万円)

基幹事業	事業	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費		交付対象事業費	費用便益比B/C	
	細項目					開始年度	終了年度	開始年度	終了年度		うち官負担分	うち民負担分			
道路	都市計画道路長柄塚線（道路・歩道拡幅、電線共同溝、自転車レーン）	大阪市	直	620m	H30	R5	H30	R5	655.25	655.25			655.25		
公園															
駐車場有効利用システム															
地域生活基盤施設															
地域生活基盤施設															
高質空間形成施設															
既存建造物活用事業															
土地区画整理事業															
市街地再開発事業															
パリアフリー環境整備促進事業															
街並み環境整備事業															
滞在環境整備事業	ストリートファニチャー	大阪市	直	1箇所	R2	R5	R2	R5	1	1			1		
合計										656.25	656.25	0.0	0.0	656.25	

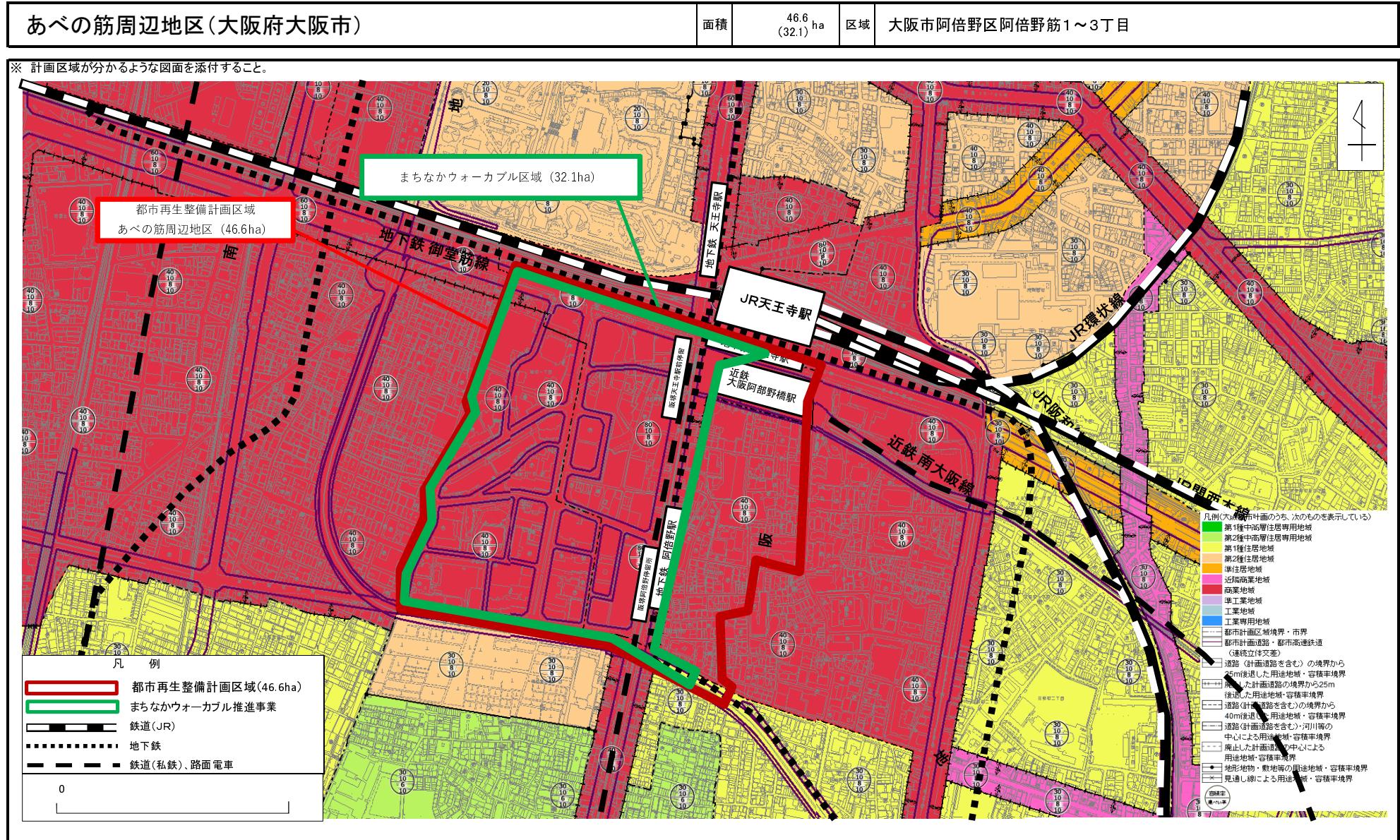
•••A

提案事業											交付対象事業費					
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費					
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度							
地域創造支援事業																
事業活用調査																
まちづくり活動推進事業																
合計										0	0	0	0	0	0	...B
										合計(A+B)			656.25			

合計(A+B) 656.25

都市再生整備計画の区域

様式(1)⑥



あべの筋周辺地区(大阪府大阪市) 整備方針概要図(まちなかウォーカブル推進事業)

目標	圧倒的な魅力を備えた都市空間の創出をめざし、官民連携によるグレードの高い公共空間の整備・管理・活用を図る。 阿倍野ターミナルエリアのメインストリートである「あべの筋」を沿道一帯のまちづくり活動と調和したデザインや活用により圧倒的な魅力を備えた都市空間とする。	代表的な指標	歩行者交通量(人／12時間)	7,513人／12時間 (平成26年度) → 8,264人／12時間(令和5年度)
			歩行者空間の魅力度(%)	78% (平成28年度) → 86% (令和5年度)
			()	(年度) → (年度)

